

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 新鷲川地区

1. 事業の概要（案）

【事業の目的】

本事業は、老朽化した用排水施設の改修を行い、かんがい用水の安定供給、維持管理費の軽減、排水被害の解消、作物被害の解消により、農業経営の安定と地域農業の振興に資するものである。

【主要工事の概要】

・受益面積 ・主要工種

4,130ha ダム：1箇所（部分改修）
 頭首工：1箇所（部分改修）
 用水路：2条 L=2.7km、排水路：3条 L=7.7km（改修）

2. 地域の環境に対する考え方

（旧鷲川町・旧穂別町田圃環境整備マスタープランより）

【現状】

- ・ 町を貫流する鷲川の清流は、豊かな恵みを育む母なる川として、流域の歴史と文化を生み、地域の生活基盤を支えている。
- ・ 里山と川沿いの農地が一体となった、美しい風土が形成されている。
- ・ 穂別ダムと背景の山々が織りなす、美しい景観がある。

【課題】

- ・ 親水機能と景観性の整備が必要となっている。
- ・ 自然生態系及び河川水質の維持に配慮が必要である。
- ・ 美しい自然と農地が調和した、特有の景観の保全が必要である。
- ・ 地域景観の礎となっている自然林の保全が必要である。

3. 新鷲川地区における環境調査の方針

【調査目的】

本事業で整備を行うダム、頭首工、用排水路周辺の自然環境を把握し、環境との調和に配慮した事業実施の検討を行うための基礎資料とする。

【基本方針】

本事業で工事を実施するにあたり、地区内に生息・生育する動植物に影響を及ぼす可能性がある。

既往調査で貴重種を含む多種多様な動植物を確認したが、生息場所・時期による調査の不十分な地点が存在する。このため、地区全域での動植物の生息・生育状況を把握するために現地調査を実施することで、本地区の生物相を把握し、事業計画策定に活用する。

4. 環境調査内容

【調査内容】

- 調査対象：哺乳類、鳥類、魚類、両生類、は虫類、昆虫類、底生動物、植物、水質
- 調査地点：改修予定のダム、頭首工、用排水路の周辺区域



新鷲川地区の景観